

立山町立釜ヶ淵小学校

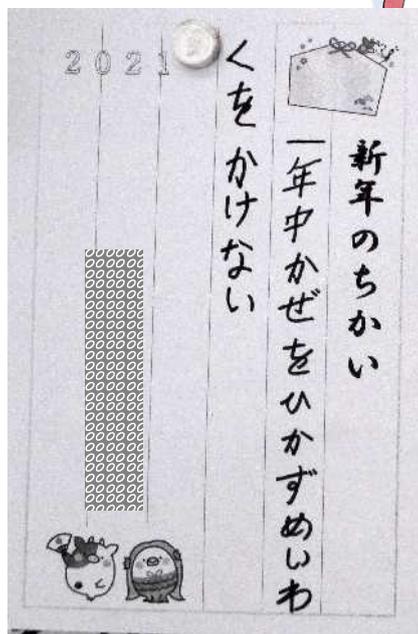
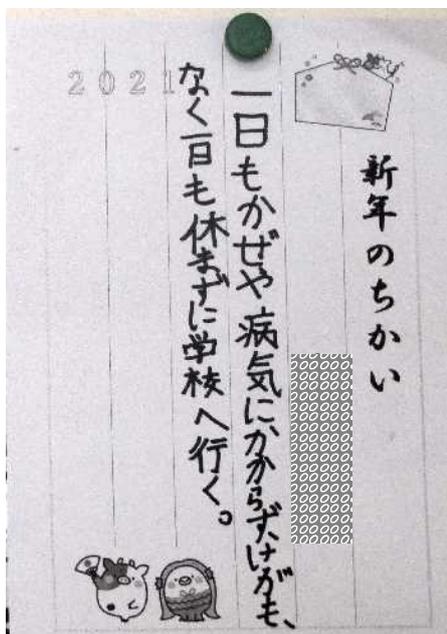
R2. 1. 14

## 1月、雪国らしい年明け



明けまして、おめでとうございます。今年は、しんと降る雪の中で新年を迎え、雪国らしい正月となりました。また、始業式当日も大雪警報が出され、その後も記録的な大雪になりました。さて、丑年は「先を急がず、目の前を確実に進めることが将来の成功につながっていく」と言われています。基礎・基本を大切にする積み重ねが、牛歩のごとく、着実な一歩になり、成功に結び付くと諭されていると感じます。まとめの3学期、基礎・基本を大切にして、6年生につなげていきたいと思います。今学期も、ご協力をよろしく申し上げます。

### ○ 新年の誓い ○



2人の「新年のちかい」は、風邪をひかないで健康に過ごすことでした。その理由として、Aさんは「学校が楽しいので、1日も休みたくないから。毎日学校へ行きたい」。Tさんは「2学期に風邪をひいて休んだ時、お母さんも仕事を休んで看病してくれ、お母さんに迷惑をかけたから。これ以上家族に迷惑をかけたくないから」と発表しました。根底にある二人の温かい思いに触れることができ、うれしく思いました。3学期に休まず登校すれば、Aさんは欠席0日、Tさんは2学期の2日だけになります。3学期は、インフルエンザや風邪に負けず、全日登校を目指してほしいと願います。

## ○ 校内書初大会 ○



7日、始業式の後、校内書初大会を行いました。今年の書初は「水清き里」、水資源に恵まれているこの釜ヶ淵の地にふさわしい言葉だと感じました。Aさんは、忘れ物があったので8日に書き上げました。2人とも心を落ち着けて、書初用紙に向かいました、Tさんは、一画一画を確かめるように、時間をかけて書きました。残念ながら金賞や銀賞にはなりませんでしたが、2学期末と比べるとぐんと上達し、家での練習の成果を感じました。



## ○ 12月のスタッフ ○



12月3日、花と緑の少年団活動「しいたけの菌打ち体験」をしました。しいたけができるのは1年後ぐらいになるそうです。卒業までに間に合うようです。

家庭科で、ミシンの使い方を学習し、ランチョンマットを作りました。今は、調理したものを口することができないので、出来上がったランチョンマットの上に皿を並べての記念写真になりました。



### < 担任の「あおぞら日記」 >

始業式後の書初大会のこと。レジャーシートを床に広げて準備をしていた時、急にAさんが「ああ、だめだ」と声を上げました。理由を聞くと「習字道具を忘れた」と話しました。5年生全員で、書いた作品を持って集合写真を撮ろうと計画を立てていたので、「Tさんに借りたらどうかな」と声をかけました。しかし、「自分の筆でないと書けない」と言い、その日の作品を出すことはできませんでした。

翌日、Aさんは習字道具を忘れずに持ってきました。1限が始まる前から道具の準備をしました。筆を準備する時、再び忘れ物に気付きました。家での練習によく使った筆を忘れてきたようでした。これ以上延期したくなかったので、道具の中に入っていた別の筆で書くことにしました。2枚書きました。しかし、思うように書けないようで最後の文字まで仕上がりがありません。納得しない様子が伝わってきました。そこへ、職員室から「いつもの筆が届く」という連絡が入りました。Aさんの書初は一時中断、筆を待つことにしました。筆が届きました。再び書き始めました。筆の運びが変わりました。最後の文字まで緊張感をもって書くことができました。Aさんが作品として選んだのは、この慣れた筆で書いた1枚です。この1枚から、家で何度も練習し、筆が手になじんでいたのだと改めて分かりました。また、適当に代替品で行えばよいと考えたことは、がんばりの積み重ねをしている本人には、大変失礼なことだったと恥じました。